

SCSIケーブルテスター SCSI-TS3

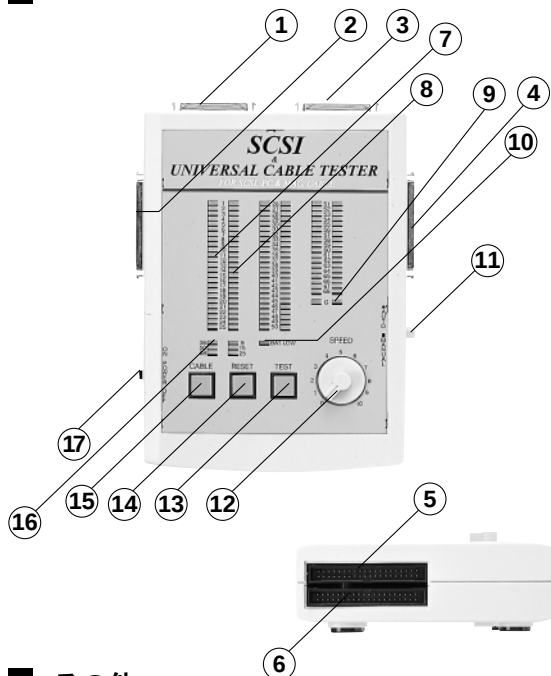
はじめに

SCSIケーブルテスターは、接続なし・ショート・クロス・結線不良などの一般的なパソコン用SCSIケーブルの検査ができます。SCSIケーブルテスターは、とても使いやすく、販売店やケーブル製作会社、システムインテグレータなどでも簡単にSCSIケーブルの結線状態を調べることができます。

特長

- SCSIケーブル用のテスターです。
- ピンタイプハーフピッチ(1.27mm)の50pinと68pinの結線を調べることができます。
- Auto/Manualの2モードのテスト方式。(Autoモードではスキャン速度の調節が可能)
- 電源は9V乾電池(6LR61)(電池は付属していません。)
- 収納用ケース付属。

部位名称



- ① TX側 ピンタイプハーフ50pinメス
- ② TX側 ピンタイプハーフ68pinメス
- ③ RX側 ピンタイプハーフ50pinメス
- ④ RX側 ピンタイプハーフ68pinメス
- ⑤ RX側 コンパクトソケット40Pinオス
- ⑥ TX側 コンパクトソケット40Pinオス
- ⑦ RX側 Pin-OUT表示器
- ⑧ TX側 Pin-OUT表示器
- ⑨ GND表示器
- ⑩ 低バッテリー表示器
- ⑪ オート/マニュアル選択ボタン
- ⑫ LED表示スピードスイッチ
- ⑬ テストキー
- ⑭ リセットキー
- ⑮ ケーブルタイプ選択キー
- ⑯ ケーブルタイプLED
- ⑰ ON/OFF電源スイッチ

その他

本テスタは、信号を左側から右側へ順に送出する仕様になっています。左側のLEDが全く点灯しない場合、LEDの故障が考えられます。

本テスタは、ワイヤの異常を検知するものですが、その異常がケーブル両端のどちら側にあるのかを調べるものではありません。

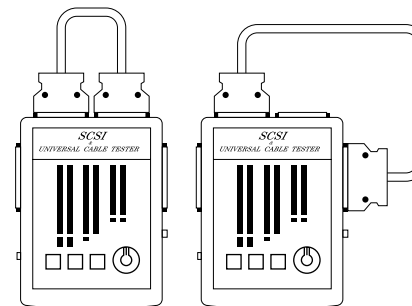
セントロニクス仕様のケーブルを検査する場合は、変換アダプタをご使用ください。

バッテリーの消耗を防ぐため、ご使用後は忘れずに電源を切ってください。

テスターを斜めに設置される場合は付属のゴム足につけかえてください。

ご使用方法

テスターの裏面の電池カバーを開け、乾電池をセットしてください。(電池は付属していません。別途にお買い求めください。)
検査するSCSIケーブルの一方を本製品の右側に、もう一方を左側にあるコネクタに接続してください。(図1)
SCSIケーブルの両端を、本製品の右側のみ、または左側のみのコネクタに接続しないようにしてください。故障の原因となります。(図2)



(図1)

【マニュアルモード】

AUTO/MANUALボタンで「MANUAL」に設定してください。

テスターの電源をONにしてください。

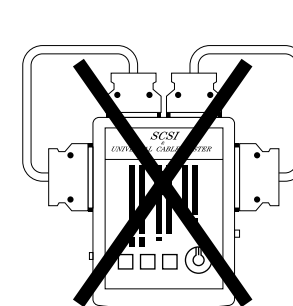
ケーブルタイプ選択キーでケーブルタイプ(TX側コネクタのPin数)をひとつ選んでください。

最初はTX側のPin-OUT表示器の1番のLEDが点灯しています。このときにRX側のPin-OUT表示器のLEDが点灯しているPin番号が、結線されています。

(RX側の1番が点灯していれば、TX側の1番PinとRX側の1番Pinが結線されています。RX側のLEDがひとつも点灯しない場合は、TX側の1番PinはRX側のどのPinにも接続されていないことになります。)

テストキーを一回ずつ押すごとにTX側のPin-OUT表示器のLEDはひとつずつ移動します。1番から2番、3番と順番に結線を確認していきます。

ケーブルのシールドテストを行う場合、ケーブルタイプ選択キーでケーブル番号をGにしてください。TXG/RXGのLEDが接続ステータスを表示します。



(図2)

【オートモード】

AUTO/MANUALボタンで「AUTO」に設定してください。(ボタンを押し込みます。)

テスターの電源をONにしてください。

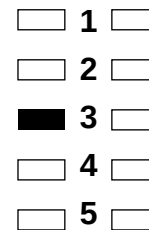
TX側のPin-OUT表示器のLEDの点灯が順に移動し、これと連動してRX側のPin-OUT表示器のLEDも点灯したり消灯したりします。(LEDをTX側の1番pinに戻すときはリセットキーを押してください。)

ケーブルタイプ選択キーでケーブルタイプ(TX側コネクタのPin数)をひとつ選んでください。

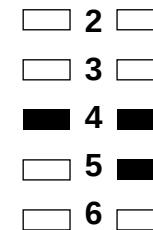
TX側のPin-OUT表示器のLEDが点灯している番号のPinと、そのときに点灯しているRX側のPin-OUT表示器の番号のPinが接続されています。

TX側のPin-OUT表示器のLEDが移動する速度はLED表示スピードスイッチで調節することができます。

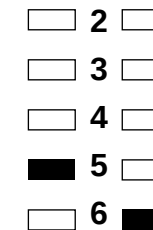
LEDについて



TX側コネクタの3番Pinは接続されていません。



TX側コネクタの4番PinとRX側コネクタの4番・5番Pinが接続されています。(RX側の4番・5番Pinはショートしています。)



TX側コネクタの5番PinとRX側コネクタの6番Pinが接続されています。(5番と6番でクロス結線されています。)